

平成 2 8 年度
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第 3 2 回総会

議 案 書

開催場所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

開催日時：平成 28 年 4 月 25 日（月） 13 時 30 分～14 時 30 分

議事次第

1. 開会

2. 支部長挨拶

3. 議事

- 第一号議案 平成 27 年度事業報告
- 第二号議案 平成 27 年度収支決算報告及び会計監査報告
- 第三号議案 平成 28 年度事業計画（案）
- 第四号議案 平成 28 年度収支予算（案）
- 第五号議案 役員改選

○報告事項

- ・ 本部開催事業（総会・シンポジウム、高知大会）
- ・ 第 54 回研究発表会、現地見学会（山形大会）

4. 閉会

○ 第一号議案 平成27年度事業報告

(1) 支部総会 (4月24日 仙台市戦災復興記念館 参加者 52名)

(2) 支部シンポジウム (4月24日 仙台市戦災復興記念館 153名)

- ・主 催：東北支部
- ・テーマ：「刻々と変化する緊急対応型地すべり・崩壊・落石事例とその教訓」
- ・基調講演：2008年岩手宮城内陸地震と2013年秋田岩手豪雨災害への対応と教訓
大河原正文 氏（岩手大学工学部准教授）
- ・講演 2：地すべり発生前の地盤変動兆候と発生機構の解釈が難しかった事例
ー平成19年群馬県で発生した道路災害の事例ー 鈴木滋 氏（日本工営（株））
- ・講演 3：下北半島易国間地区における落石災害への対応について
能見忠歳 氏（応用地質（株））
- ・講演 4：肘折地区における緊急対応と崩壊予測 伊藤和広 氏（奥山ボーリング（株））
- ・講演 5：白石地区のある地すべりの崩壊予測と管理基準値
池田浩二 氏（（株）東北開発コンサルタント）
- ・総合討論：司会 濱崎英作 氏（（株）アドバンテクノロジー）、
渡辺 修 氏（同）水文企画

(3) 意見交換会（平成27年4月24日 仙台国際ホテル 50名）

(4) 支部拡大運営委員会・拡大幹事会

- ① 拡大幹事会（平成28年2月15日 仙台市 東北工大一番町ロビー 22名）
- ② 拡大運営委員会（平成28年3月23日 仙台市 東北工大一番町ロビー 24名）

(5) 地すべり学会山形大会の開催

- ・県民講演会（8月25日 山形テルサ 1F テルサホール ）
テーマ 防災意識の向上に向けて
自然を敬う心と科学の力 ～東北地方の山岳信仰と災害研究の現場から
講 師 三浦哲氏（東北大学大学院教授）、伊藤清郎氏（山形大学名誉教授）
- ・開会式、表彰式、特別講演、研究発表会、新技術紹介（8月26日 山形テルサホールほか）
- ・研究発表会、新技術紹介（8月26～27日 山形テルサホールほか）
- ・現地見学会（8月28日 肘折カルデラ周辺（27-28日）、月山周辺、蔵王火山周辺）
- ・参加者
研究発表会（総数 497名 （正会員 334名）、（学生会員 19名）、（非会員 144名））
意見交換会（総数 346名 （正会員 262名）、（学生会員 7名）、（非会員 77名））
現地見学会（総数 89名 （Aコース 18名）、（Bコース 34名）、（Cコース 37名））

(6) 山形大会関連

- ① 第4回幹事会（平成27年5月27日 仙台市
東日本不動産仙台ファーストビル5F会議室 24名）
- ② 第5回幹事会（平成27年6月24日 仙台市 東北工業大学一番町ロビー 20名）
- ③ 第6回幹事会（平成27年7月22日 仙台市 東北工業大学一番町ロビー 22名）
- ④ 第2回実行委員会（平成27年8月7日 山形市 山形テルサ3F研修室A 12名）
第7回幹事会（同上、同上 21名）
- ⑤ 第8回幹事会（平成27年8月17日 山形市 山形テルサ3F研修室B 23名）
- ⑥ 第9回幹事会（平成27年9月28日 山形市 山形テルサ3F研修室B 14名）
- ⑦ 監査（暫定）（平成27年12月15日 仙台市・（一社）斜面協会東北支部会議室 5名）
- ⑧ 第3回実行委員会（平成27年12月22日 山形市 山形テルサ3F会議室 6名）
- ⑨ 第10回幹事会（同上、同上 21名）
- ⑩ 監査（平成28年2月22日 仙台市・（一社）斜面協会東北支部会議室 5名）

(7) 関連団体との連携

- ① 山形応用地質第36号（山形応用地質研究会）に、山形大会の実施紹介報告を投稿

(8) 広報活動等

- ① 支部だより（第26号）の発行（平成27年12月）
- ② 支部ホームページの更新
 - ・ 東北支部関連（幹事会、運営委員会など）
 - ・ 山形大会関連（実行委員会、幹事会など）

○ 第二号議案 平成27年度収支決算

【収益】				当期予算 a	当期決算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部収益				815,300	915,485	△ 100,185
	事業収益			315,000	322,000	△ 7,000
		シンポジウム収益		315,000	322,000	△ 7,000
			参加費			
			意見交換会費	315,000	322,000	△ 7,000
		現地検討会収益				
			参加費			
			意見交換会費			
		技術講習会収益				
			参加費			
			意見交換会費			
		出版収益				
			会誌頒布			
			その他の出版			
	協賛・寄付			500,000	580,000	△ 80,000
		協賛金		500,000	580,000	△ 80,000
		寄付金				
	雑収益					
	受取利息			300	297	3
	預り金					
	研究発表会収益			0	13,188	△ 13,188
本部仮払金				280,000	280,000	0
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				1,095,300	1,195,485	△ 100,185

【費用】				当期予算 a	当期決算 b	増減 a-b
勘定科目						
大科目	中科目	小科目	細目			
支部費用				1,095,300	1,100,099	△ 4,799
	事業費			810,300	900,821	△ 90,521
		シンポジウム会費		535,300	511,133	24,167
			印刷製本費	50,000	48,894	1,106
			会場費(会場使用料)	10,000	8,280	1,720
			会議費(意見交換会含む)	350,000	326,700	23,300
			諸謝金	20,000	22,274	△ 2,274
			旅費交通費	90,000	86,000	4,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	15,000	16,933	△ 1,933
			情報システム費			
			支払手数料	300	1,728	△ 1,428
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費	0	324	△ 324
		現地検討会費				
			印刷製本費			
			会場費(会場使用料)			
			会議費(意見交換会含む)			
			諸謝金			
			旅費交通費			
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費			
			情報システム費			
			支払手数料			
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費			

(費用その2)

【費用】				当期予算 a	当期決算 b	増減 a-b
大科目	中科目	小科目	勘定科目 細目			
			技術講習会費			
			印刷製本費			
			会場費(会場使用料)			
			会議費(意見交換会含む)			
			諸謝金			
			旅費交通費			
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費			
			情報システム費			
			支払手数料			
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費			
			※その他の事業活動	275,000	389,688	△ 114,688
			印刷製本費(機関誌)	200,000	174,960	25,040
			会場費(会場使用料)			
			会議費(意見交換会含む)			
			広告宣伝費			
			パート・アルバイト代			
			諸謝金			
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	45,000	0	45,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	30,000	58,776	△ 28,776
			情報システム費			
			支払手数料	0	2,592	△ 2,592
			消耗品	0	153,360	△ 153,360
			備品			
			外注費			
			支払保険料			
			雑費			
			その他			
	管理費			285,000	199,278	85,722
		給与・手当		20,000	0	20,000
			パート給与			
			アルバイト給与	20,000	0	20,000
		会場費		15,000	17,530	△ 2,530
		会議費		50,000	0	50,000
			支部総会費			
			幹事会・運営委員会	50,000	0	50,000
		印刷製本費		30,000	0	30,000
		旅費交通費		10,000	2,650	7,350
		借料				
		通信運搬費		30,000	19,765	10,235
		消耗品(事務用品など)		10,000	58,037	△ 48,037
		情報システム費(OA、サーバ管理など)		10,000	0	10,000
		備品				
		外注費		100,000	100,000	0
		支払手数料		5,000	648	4,352
		公租公課 印紙代				
		雑費		5,000	648	4,352
当期費用合計(B)				1,095,300	1,100,099	△ 4,799
当期収支差額(C=A-B)				0	95,386	△ 95,386
前期未払金					9,072	
前期前払金					9,250	
前期繰越額				1,596,761	1,596,761	0
次期繰越額				1,596,761	1,692,325	△ 95,564

監査報告書（東北支部）

平成 28 年 4 月 12 日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 土屋 智 殿

監事 田 中 均 

監事 三上 登志男 

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

○ 第三号議案 平成28年度事業計画（案）

■事業企画委員会

(1) 支部総会

① 日 時：平成28年4月25日（月）13時30分～14時30分

② 場 所：仙台市戦災復興記念館・記念ホール

③ 議事

- ・ 第一号議案 平成27年度事業報告
- ・ 第二号議案 平成27年度収支決算及び監査報告
- ・ 第三号議案 平成28年度事業計画（案）
- ・ 第四号議案 平成28年度収支予算（案）
- ・ 第五号議案 役員改選
- ・ 報告事項

(2) シンポジウム

① 日 時：平成28年4月25日（月）14時40分～17時30分

② 場 所：仙台市戦災復興記念館・記念ホール

③ テーマ：「積雪から融雪期の地すべり

～その不思議な挙動の解明と危険度予測を目指して～」

④ 基調講演：「季節積雪層と斜面変動の相互作用を考える」

松浦純生 氏（京都大学防災研究所教授 地盤災害研究部門）

⑤ 講 演

- ・「新潟県の地すべりの積雪期における運動特性

～地すべりの運動は本当に融雪水の地中浸透と関係しているのか？～」

佐藤壽則氏（（株）日さく）

- ・「寒候期に地すべり面の力学特性に影響を及ぼす諸要因」

柴崎達也 氏（国土防災技術（株））

- ・「豪雪地域の地すべりに及ぼす積雪荷重の影響」

岡本 隆 氏（国立研究開発法人 森林総合研究所東北支所）

- ・「積雪から融雪期の浸透水と地下水位の関係事例」

細谷健介 氏（新和設計（株））

- ・「積雪期前に活発化する地すべりの要因について」

大村 泰 氏（奥山ボーリング（株））

- ・ 総合討論 司会 岡本 隆 氏（国立研究開発法人 森林総合研究所東北支所）

渡辺 修 氏（（同）水文企画）

(3) 意見交換会

① 日 時：平成28年4月25日（月） 18時00分～20時00分

② 場 所：ホテルグランテラス仙台南分町

(4) ワークグループの発足

- ① 名称：「斜面変動研究の次世代コロキウム」
- ② コロキウム（談話会）では、世話人を務める宮城豊彦氏、阿部真郎氏、濱崎英作氏が主な話題提供者となり、長年培ってこられた地すべりに関する技術、経験知や勘、コツをこれから学会や業界の将来を担う若手に伝承し、能力開発の機会を提供する。この延長上には、報告書や論文の作成法、学会での発表を明確化する工夫なども視野に入れる。
- ③ 活動計画
参加者は10～20名程度とし、年間5～6回程度ウィークデイの午後を予定
第1回は、平成28年5月13日（金）14:30～19:00を予定

(5) 支部幹事会 (2月下旬頃)

- ### ① 支部運営委員会の議案の検討

(6) 支部運営委員会 (3月中旬頃)

- ① 平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画（案）を作成

(7) 役員会、委員会

- ① 必要に応じて随時開催

(8) 社会貢献・会勢活動

- ① 社会貢献・会勢活動を推進するために、出前講座や出張授業等を推進、検討する。
(講座・授業を行う対象や内容、講師などの情報収集と検討。中・長期的な戦略を立案)
- ② 市民向けのシンポジウムなどを検討

(9) 他学協会との交流活動

- ① 関連協会、団体への後援、協力の働きかけ
 斜面防災対策技術協会東北支部 全国地質調査業協会連合会 東北地質調査業協会
 砂防学会東北支部 土木学会東北支部 応用地質学会東北支部 地盤工学会東北支部など
- ② シンポジウム、勉強会等の共同開催などの企画

■巡検計画委員会

(1) 現地検討会

- ① 開催時期：10月上旬～中旬（1泊2日で開催）
② 開催場所：福島県 滝坂地すべり
- 支部会員企業が調査設計を行っており、検討会資料の収集や作成の協力が得やすいほか、発注当局（阿賀野川河川事務所）もこれまで多数の検討会の受け入れをしている。



- ③ 全国屈指の大規模地すべりであり、これまでの調査解析資料の蓄積が大きいほか、各種の対策工事が施工されており、地すべり対策のあり方を考える上でも格好のフィールドである。
- ④ 調査会社及び発注当局への打診を早い時期に行い、調査・対策状況を聞いたうえで、具体的な検討会内容について7月中を目処に検討していく。

(2) 災害調査派遣

- ① 調査に値する災害情報が提供された場合は、委員長から支部長及び副支部長へ派遣の可否を協議した上で、調査人員を参集する（本部の土砂災害緊急調査内規を参考とする）。
- ② 情報提供があった場合は支部長及び副支部長と協議し、調査派遣の判断を行う。また、他協会や学会から情報提供があった場合も、これに準じて対応する。
- ③ 委員会では関係機関への調査申し入れ、交通手段、宿泊の有無、傷害保険などについて計画を立案する。
- ④ 調査後は、結果を報告書にまとめ委員会に提出するとともに、会員に広く広報する。
- ⑤ 必要があれば後続調査の検討を行う。

(3) 支部購入備品の管理

- ① 山形大会を機に購入したヘルメットと拡声器は、現地検討会及び災害調査派遣時に活用するものとし、巡検委員会で管理保管する。
- ② 保管場所については巡検委員長所属会社もしくは在仙委員会社とする。

(4) 他学会、団体との交流

- ① 関連協会への現地検討会参加の案内
斜面防災対策技術協会東北支部、全地連・東北地質調査業協会ほか、関連学会などへ現地検討会の参加募集を行い、相互の意見交換や技術交流を図る。
- ② 災害調査における連携
関連する学協会との合同調査についても積極的な対応を推進する。

■広報委員会

- (1) 支部だより第27号を12月に発刊
- (2) 支部のホームページで情報発信

○ 第四号議案 平成28年度収支予算（案）

【収益】				当期予算	前期予算	増減
勘定科目				a	b	a-b
大科目	中科目	小科目	細目			
支部収益				1,740,300	815,300	925,000
	事業収益			1,160,000	315,000	845,000
		シンポジウム収益		600,000	315,000	285,000
			参加費	180,000	0	180,000
			意見交換会費	420,000	315,000	105,000
		現地検討会収益		560,000	0	560,000
			参加費	140,000	0	140,000
			意見交換会費	420,000	0	420,000
		技術講習会収益		0	0	0
			参加費	0	0	0
			意見交換会費	0	0	0
		出版収益				
			会誌頒布			
			その他の出版			
	協賛・寄付			580,000	500,000	80,000
		協賛金		580,000	500,000	80,000
		寄付金				
	雑収益					
		受取利息		300	300	0
		預り金				
		研究発表会収益				
本部仮払金				300,000	280,000	20,000
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				2,040,300	1,095,300	945,000

【費用】				当期予算	前期予算	増減
勘定科目				a	b	a-b
大科目	中科目	小科目	細目			
支部費用				2,040,300	1,095,300	945,000
	事業費			1,720,300	810,300	910,000
		シンポジウム会費		760,300	535,300	225,000
			印刷製本費	80,000	50,000	30,000
			会場費(会場使用料)	63,000	10,000	53,000
			会議費(意見交換会含む)	430,000	350,000	80,000
			諸謝金	40,000	20,000	20,000
			旅費交通費	132,000	90,000	42,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	15,000	15,000	0
			情報システム費			
			支払手数料	300	300	0
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費			
		現地検討会費		515,000	0	515,000
			印刷製本費	15,000	0	15,000
			会場費(会場使用料)	20,000	0	20,000
			会議費(意見交換会含む)	420,000	0	420,000
			諸謝金			
			旅費交通費	20,000	0	20,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	20,000	0	20,000
			情報システム費			
			支払手数料			
			消耗品	10,000	0	10,000
			備品			
			支払保険料	10,000	0	10,000
			雑費			

(費用その2)

【費用】				当期予算 a	前期予算 b	増減 a-b
大科目	中科目	勘定科目 小科目	細目			
		技術講習会費		120,000	0	120,000
			印刷製本費	10,000	0	10,000
			会場費(会場使用料)	10,000	0	10,000
			会議費(意見交換会含む)			
			諸謝金			
			旅費交通費	100,000	0	100,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費			
			情報システム費			
			支払手数料			
			消耗品			
			備品			
			支払保険料			
			雑費			
		※その他の事業活動		325,000	275,000	50,000
			印刷製本費(機関誌)	230,000	200,000	30,000
			会場費(会場使用料)			
			会議費(意見交換会含む)			
			広告宣伝費			
			パート・アルバイト代			
			諸謝金			
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	55,000	45,000	10,000
			借料(バス・レンタカー代)			
			通信運搬費	40,000	30,000	10,000
			情報システム費			
			支払手数料			
			消耗品			
			備品			
			外注費			
			支払保険料			
			雑費			
			その他			
	管理費			320,000	285,000	35,000
		給与・手当		20,000	20,000	0
			パート給与			
			アルバイト給与	20,000	20,000	0
		会場費		15,000	15,000	0
		会議費		30,000	50,000	△ 20,000
			支部総会費			
			幹事会・運営委員会	30,000	50,000	△ 20,000
		印刷製本費		30,000	30,000	0
		旅費交通費		10,000	10,000	0
		借料				
		通信運搬費		40,000	30,000	10,000
		消耗品(事務用品など)		5,000	10,000	△ 5,000
		情報システム費(OA、サーバ管理など)		10,000	10,000	0
		備品				
		外注費		150,000	100,000	50,000
		支払手数料		5,000	5,000	0
		公租公課 印紙代				
		雑費		5,000	5,000	0
当期費用合計(B)				2,040,300	1,095,300	945,000
当期収支差額(C=A-B)				0	0	0
前期繰越額				1,692,325	1,596,761	95,564
次期繰越額				1,692,325	1,596,761	95,564

○ 第五号議案 平成28・29年度役員改選

平成28年3月23日開催支部運営委員会において、以下の推薦を得た。

- ・支 部 長：八 木 浩 司 氏（山形大学地域教育文化学部 教授）
- ・副支部長：菅 野 洋 一 氏（宮城県防災砂防課長）
- ・副支部長：金 子 和 亮 氏（日本工営(株)仙台支店 副技師長）
- ・監 事：田 中 均 氏（宮城県森林整備課長）
- ・監 事：三 上 登志男 氏（(株)復建技術コンサルタント技師長）

＜参考：支部運営規定抜粋＞

第3条 支部に役員、顧問、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く。

顧 問	若干名
支 部 長	1名（役員）
副支部長	若干名（〃）
監 事	2名（〃）
運営委員	若干名
幹 事 長	1名
副幹事長	若干名
幹 事	若干名

第4条 役職の任期は2年とする。再任は妨げない。前年度の運営委員会が支部会員のうちから推薦し、総会において承認を得る。

2 顧問、運営委員、幹事長、副幹事長及び幹事は支部長が委嘱する。

○ 報告事項

(1) 平成 28 年度本部開催事業

① 総会、およびシンポジウム

○期日：平成 28 年 6 月 17 日（金）

○場所：学術総合センター内「一橋大学一橋講堂」（東京都）

- ・ 通常社員総会（10:00～10:50）
- ・ シンポジウム（11:10～17:00） 「地すべり研究・対策技術を国際協力に生かすために」
- ・ 意見交換会（17:00～19:00）
- ・ 申込期限（6 月 3 日（金））

② 第 55 回（公社）日本地すべり学会研究発表会・現地見学会

○場所：高知県立県民文化ホール（高知県）

○日時：平成 28 年 8 月 22 日（月）～8 月 25 日（木）

(2) 第 54 回（公社）日本地すべり学会研究発表会・現地見学会（山形大会）開催報告

①場所：山形テルサ（山形市）

②日時：平成 27 年 8 月 25 日～8 月 28 日

③参加者：研究発表会 513 名、意見交換会 339 名、現地見学会 85 名

＊詳細は次ページより参照

＜支部だよりより抜粋＞

第54回研究発表会及び現地見学会が、山形市の山形テルサを主会場として開催された。実施内容について報告する。

＜大会概要＞

○ 開催日程

- ・ 8月25日（火）県民講演会 18:00～20:00
- ・ 8月26日（水）開会式、表彰式、特別講演、研究発表会、新技術紹介セッション（プレゼンテーション）、意見交換会
- ・ 8月27日（木）研究発表会、閉会式
- ・ 8月28日（金）現地見学会
 - Aコース：肘折カルデラ周辺の地すべり
 - Bコース：月山周辺の地すべり
 - Cコース：蔵王火山周辺の地すべり

○ 会場

- ・ 主会場 山形テルサ
- ・ 意見交換会 ホテルメトロポリタン山形

○ 後援、協賛、補助金、広告

- ・ 後援（東北地方整備局、東北農政局、東北森林管理局、山形県、山形市）
- ・ 協賛（（一社）斜面防災対策技術協会東北支部、東北地質調査業協会、山形県土質土壌調査業協会、山形建設コンサルタント協会、山形県測量設計業協会、（一社）日本補償コンサルタント東北支部、山形部会、山形県森林土木建設業協会）
- ・ 補助金（山形市社会連携課、山形コンベンションビューロ、山形商工会議所）
- ・ 広告（奥山ボーリング、新東京ジオシステム、砂防地すべり技術センター、国土防災技術、アジア航測、測商技研、RC型集水井工法研究会、小断面トンネル排水工法研究会、オサシ・テクノス、復建技術コンサルタント、計測技研、日本工営、川崎地質、国土防災技術東北支社、藤進、地質基礎工業、日鐵住金建材、熊谷組東北支店、基礎地盤コンサルタンツ、共和防災建設、エスイー東北支社）

行政機関の後援と各種団体からの協賛、補助金、広告によるご支援、ご協力をいただくことで、大会をスムーズに運営することができました。ここに記してお礼申し上げます。

○ 参加者数

- ・ 研究発表会（513名）
- ・ 意見交換会（339名）
- ・ 現地見学会（85名：A-18、B-31、C-36）

今年から新たな申し込み管理システムが運用された。入金をクレジット決済、コンビニ支払い、ゆうちょ銀行支払いによるもので、今後の運用に向けていくつか課題も浮き彫りになった。

＜県民講演会＞

- テーマ：「防災意識の向上に向けて」 自然を敬う心と科学の力～東北地方の山岳信仰と災害研究の現場から～

○ 講師・演題

- ・ 三浦 哲氏（東北大学大学院理学研究科教授）
「東北地方の活火山と蔵王山の活動について」

- ・ 伊藤清郎氏（山形大学地域教育文化学部名誉教授）
「山岳信仰と災害（噴火）」

県民講演会に先立ち、奥山実行副委員長から地すべり学会の取り組みについてのプレゼンテーション、同時に「最近の東北支部の活動」、「山形県内の地すべり」、「ゴルカ地震によるネパールでの地盤災害」の写真展示を実施した。



＜開会式＞

○ 式典

- ・ 開会挨拶（八木浩司実行委員長）
- ・ 来賓挨拶（国土交通省砂防部部長 西山幸治様）
（山形県副知事 細谷知行様）
- ・ 来賓（16名）

○ 表彰式

- ・ 審査報告（鶴飼恵三表彰委員長）表彰者（土屋学会長）
- ・ 研究奨励賞（河野勝宣氏）
- ・ 技術報告賞（稲垣秀輝氏）
- ・ 同（佐藤悦司氏）
- ・ 査読者賞（上野将司氏）



＜特別講演＞

○ 講師・演題

- ・ 八木浩司氏（山形大学地域教育文化学部教授）
「ジオパーク運動における地すべり地の防災教育の場としての活用」

＜研究発表会＞

○ 口答発表プログラム（全95件）

- ・ 第1会場（事例報告-31件）
- ・ 第2会場（特別セッション1：地すべり・斜面災害の緊急対応や斜面変動状況の把握にむけたUAVとSfMの活用-5件、特別セッション2：地すべり防災に関わる日本の国際協力-14件、対策・維持管理-7件）
- ・ 第3会場（その他-5件、地すべり機構-15件、地すべり調査・計測-18件）



- 若手ポスター賞
 - ・ 最優秀賞
山崎晴香氏（信州大学：膨張性粘土鉱物を含む膨張土試料の薄片作成法）
 - ・ 優秀賞
本明将来氏（群馬大学：2013年伊豆大島台風災害における表層崩壊機構に関する実験的検討）
Yap JIANG 氏（京都大学：Correlations between frictional instability and acoustic emission of sheared granular materials）
坂本さよ氏（京都大学大学院：水槽実験による天然ダムの破壊機構についての基礎的研究）



<ランドスライドフォトコンテスト>

- 応募数（応募者数-9名、作品数-16点）
- 審査結果
 - ・ 最優秀賞
早川裕弐氏（東京大学：swallowed land（飲み込まれる大地））
 - ・ 優秀賞
山崎新太郎氏（北見工業大学：海底隆起）
- 展示
 - ・ 最優秀賞と優秀賞を含む一次審査を通過した8点を展示。あわせて県民講演会時の写真類を展示した。



<現地見学会>

- Aコース（肘折カルデラ周辺の地すべり）
 - ・ 参加者（18名）
 - ・ 対象地すべり（銅山川、豊牧）
 - ・ 見学、体験（肘折温泉宿泊、肘折希望大橋、最上川舟下り）
- Bコース（月山周辺の地すべり）
 - ・ 参加者（31名）
 - ・ 対象地すべり（月山志津、七五三掛）
 - ・ 見学、体験（中連寺）
- Cコース（蔵王火山周辺の地すべり）

- ・ 参加者（36名）
- ・ 対象地すべり（上山小倉、鳴の谷地）
- ・ 見学、体験（蔵王温泉、お釜）



<意見交換会>

- 会場：ホテルメトロポリタン山形霞城の間
- 参加者
 - ・ 一般参加（339名）
 - ・ 来賓（8名）
 - ・ 新技術招待（18名：新たな取り組みとして新技術紹介セッション出展者から1団体あたり1名を招待）
 - ・ やまがた舞子（7名）
- 司会（奥山武彦実行副委員長）、挨拶（八木浩司実行委員長）
- 来賓挨拶（山形市長 市川昭男氏、東北森林管理局治山課長 大野泰宏氏）
- 乾杯（後藤聡副会長）
- ランドスライドフォトコンテスト表彰（優秀賞：山崎新太郎氏）



<新技術紹介セッション>

- 参加企業・団体（23件）
- 新たな取り組み
 - ・ プレゼンテーションの実施（発表会場準備時間を用いて出展者の発表を実施）
 - ・ 出展団体あたり1名を意見交換会に招待



たくさんの方々の参加をいただき、4日間の大会を無事終了することができました。参加者各位、ご協力をいただいた国機関、自治体、関係機関、そして運営に携わった関係者各位に改めて感謝申し上げます。

以上

<山形大会決算>

費目		予算 (2015/02/24)	決算 (2016/02/22)	備考
収入	補助金・協賛金	400,000	800,000	補助金2、協賛7団体
	研究発表会	6,250,000	6,816,280	
	意見交換会	1,532,000	2,275,000	
	現地見学会	1,004,000	1,035,000	
	計	9,186,000	10,926,280	
費目		予算	決算	備考
事業費	印刷製本費	1,278,000	1,326,232	講演集印刷、開催案内書印刷 講演集Web化、CD化等
	会場費	1,022,222	701,620	会場及び施設利用料(山形テルサほか) 映像機器、会場備品等は外注費へ
	会議費	318,000	384,319	事務局食事代等
	意見交換会費	1,620,350	1,905,815	
	広告宣伝費	260,000	133,766	ポスター、チラシ等 仙台ドラフティングサービス)
	パート・アルバイト代	250,000	112,000	会場設営(大学生5名)
	諸謝金	100,000	181,055	県民講演会(伊藤教授、三浦教授) 特別講演会(八木教授)
	旅費交通費	1,285,000	1,329,630	現地見学会(バス、宿泊費) 事務局宿泊費・日当ほか
	通信運搬費	32,400	60,624	切手代
	支払い手数料	119,900	196,974	ゆう貯、コンビニ、クレジット手数料
	消耗品費	0	0	
	外注費	2,475,076	4,222,152	経理代行、受付・事務委託、電気施設工事、 映像機器・会場内備品、看板等
	保険料	26,700	27,000	現地見学会
	雑費	24,000	331,905	賞状、賞品、駐車料金、税金、残高証明
支出計		8,811,648	10,913,092	
差額		374,352	13,188	

<監査報告>

平成 28 年 2 月 23 日

第 54 回日本地すべり学会山形大会
実行委員長 八木浩司 殿

監事 三上 登志男 

監事 新屋 浩明 

監査報告書

平成 27 年度（公社）日本地すべり学会第 54 回研究発表会及び現地見学会の
収支決算について監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- （1）会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる手続きを用いて決算書の正確性を監査した。
- （2）会議等への出席又は業務報告を徴収し、関係書類の閲覧など、必要と思われる手続きを用いて大会運営執行の妥当性を監査した。

2. 監査意見

- （1）決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、山形大会の経理の状況を正しく示していると認める。
- （2）実施報告書の内容は真実であると認める。
- （3）大会運営に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

支部協賛会社（３７社）

一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング東北支店
株式会社 アドバンテクノロジー
応用地質株式会社 東北支社
奥山ボーリング 株式会社
川崎地質株式会社 北日本支社
基礎地盤コンサルタンツ株式会社 東北支社
株式会社 計測技研
国際航業株式会社 東北支社
国土防災技術株式会社 東北支社
株式会社 新東京ジオ・システム
新和設計 株式会社
合同会社 水文企画
株式会社 総合土木コンサルタント
株式会社 測商技研
株式会社 ダイヤコンサルタント東北支社
地質基礎工業 株式会社
中央開発株式会社 東北支社
株式会社 テクノ長谷
株式会社 東建ジオテック東北支店
株式会社 ドーコン東北支店
東光計測 株式会社
東邦技術 株式会社
東北ボーリング 株式会社
土木地質 株式会社
日栄地質測量設計 株式会社
株式会社 日さく仙台支店
日鉄鉦コンサルタント株式会社 東北支社
日特建設株式会社 東北支店
日本基礎技術株式会社 東北支店
日本工営株式会社 仙台支店
株式会社 平野組
不二ボーリング工業株式会社 仙台支店
株式会社 復建技術コンサルタント
三菱マテリアルテクノ株式会社 秋田支店
明治コンサルタント株式会社 東北支店
ライト工業株式会社 仙台支店